平成29年特定サービス産業実態調査

政府統計　秘　基幹統計 特定サービス産業実態統計

学習塾調査票

平成29年7月1日

※整理番号	※都道府県番号	※市区町村番号	※事業所番号

【21】

★★★ 記入に当たっては、別紙の「学習塾調査票記入注意」を必ず読んでください。
※印は記入しないでください。

★★ 割合を記入する項目は合計が100%となるように整数（小数点以下は四捨五入）で記入してください。あらかじめ事業所名・所在地等が印刷されている場合は印刷内容を確認して変更があれば必ず訂正してください。

★★ この調査は、統計法（平成十九年法律第五十三号）に基づく基幹統計調査で、調査対象となった全ての事業所は報告の義務があります。この調査票は、統計作成の目的以外には使用されません。また、調査の事務に従事する者が調査の内容を他に漏らすことは法律により固く禁じられております。

学習塾

1 事業所名及び所在地

Ⅰ 事業所名（フリガナ）

Ⅱ 事業所の所在地　〒□□□－□□□□　電話（　　）　局　番

（貴事業所が支社、営業所の場合には、本社の所在地を下記Ⅲの欄に記入してください。）

Ⅲ 本社の所在地　〒□□□－□□□□　電話（　　）　局　番

2 経営組織及び資本金額

Ⅰ 経営組織

（あてはまるものを○で囲んでください。）
1 会社
2 会社以外の法人・団体
3 個人経営

Ⅱ 資本金額（又は出資金額）

千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円

3 本社・支社別

Ⅰ 事業所の本社・支社別

（あてはまるものを○で囲んでください。）
1 単独事業所（支社、支店、営業所などを持たない事業所）
2 本社（支社、支店、営業所などを持っている本社、本店）
3 支社（支社、支店、営業所など）

4 フランチャイズ

（あてはまるものを○で囲んでください。）
1 フランチャイズに加盟している
2 フランチャイズに加盟していない

5 年間売上高

注．調査事項5～10については、貴事業所のみの数値等を記入してください。他の事業所分は含みません。

（平成28年1月1日から12月31日までの1年間又は最も近い決算日前1年間について記入してください。）

Ⅰ 事業所の年間売上高（消費税額を含む。）

事業所の年間売上高							
千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円

Ⅱ Ⅰの「事業所の年間売上高（消費税額を含む。）」に占める業務別売上高

業務区分	学習塾業務								その他業務							
	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円
年間売上高																

「学習塾業務」の売上高について、その内訳を下記Ⅲの受講生区分、Ⅳの収入種類別に従って記入してください。

上記「その他業務」に売上高の記入がある場合には、その内訳を記入してください。

注1：「乳・幼児教育」は、「その他業務」に分類してください。

その他業務の内訳	製造業務	情報通信業務	卸売・小売業務	不動産業務	サービス業務	その他の業務	合計
	%	%	%	%	%	%	100%

Ⅲ 「学習塾業務」の年間売上高の受講生区分別割合

受講生区分		年間売上高
集団指導方式	小学生	%
	中学生	%
	高校生以上	%
個別指導方式	小学生	%
	中学生	%
	高校生以上	%
合計		100%

注2：売上高は、夏期・冬期・春期等、期間限定の短期講習による売上高も含めて記入してください。
注3：個別指導方式とは、一人の教師が3人以下の生徒に対し個別に指導するものをいいます。

Ⅳ 「学習塾業務」の年間売上高の収入種類別割合

収入区分	年間売上高
入会金収入	%
受講料収入	%
教材料売上高	%
その他	%
合計	100%

6 講座数、受講生数等

業務種類別　講座数、受講生数等

区分	集団指導方式			個別指導方式		
	小学生	中学生	高校生以上	小学生	中学生	高校生以上
講座数						
受講生数（在籍者数）	人	人	人	人	人	人
うち新規	人	人	人	人	人	人
年間延べ受講生数	人	人	人	人	人	人
年間延べ講座開設時間数	時間	時間	時間	時間	時間	時間

注1：夏期・冬期・春期等、期間限定の短期講習も含めて記入してください。
注2：「受講生数（在籍者数）」は平成28年12月31日現在の在籍者数を記入し、うち新規は、平成28年1月1日以降に入会した受講生の在籍者数を記入してください。
注3：「年間延べ受講生数」は平成28年1月1日から12月31日までの延べ受講生数を業務種類別に記入してください。
注4：「年間延べ講座開設時間数」は平成28年1月1日から12月31日までの延べ講座開設時間を業務種類別に記入してください。

7 入会金・講座単価等

Ⅰ 入会金及び講座の1時間あたり受講料（消費税額を含む。）

区分		小学生	中学生	高校生以上
入会金単価		円	円	円
講座の1時間当たり受講料	集団指導方式	円/時	円/時	円/時
	個別指導方式	円/時	円/時	円/時

Ⅱ 受講料の前受金の有無

（あてはまるものを○で囲んでください。）
1 あり
2 なし

8 インターネットを活用した指導方法の採用の有無

（あてはまるものを○で囲んでください。）
1 あり
2 なし

注：インターネットを活用した指導方法とは、インターネットによるパソコンや携帯端末等を用いた授業及び学習教材の提供などをいいます。

9 年間営業費用及び年間営業用固定資産取得額

（平成28年1月1日から12月31日までの1年間又はこれに近い決算日前1年間について記入してください。）

Ⅰ 事業所の年間営業費用（消費税額を含む。）

区分			千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円
給与支給総額										
広告宣伝費										
警備費										
外注費（教材購入費を含む。）										
減価償却費										
賃借料	土地・建物									
	機械・装置	情報通信機器								
		その他								
その他の営業費用										
合計										

Ⅱ 事業所の過去1年間における営業用固定資産取得額（消費税額を含む。）

区分			千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円
有形固定資産	機械・設備・装置	情報通信機器								
		その他								
	土地									
	建物・その他の有形固定資産									
無形固定資産										
合計										

注1：耐用年数1年以上で取得価額が10万円以上の固定資産の取得額（購入手数料を含む。）を記入してください。
注2：過去1年間に営業用固定資産の取得額がない場合は、合計欄に「0」を記入してください。
注3：「情報通信機器」とは、有線通信機器、無線通信機器、放送装置、自動交換装置、ファクシミリ、電子計算機、端末機器、補助装置、電子計算機附属機器、パソコン、CAD／CAM（コンピュータ設計・製造システム）などをいいます。

10 従業者数

Ⅰ 事業所の従業者数

（平成29年7月1日現在又はこれに近い給与締切り日現在で記入してください。）

区分	①個人業主（個人経営の事業主）及び無給の家族従業者	②有給役員	常用雇用者 ③一般に正社員、正職員などと呼ばれている人	常用雇用者 ④パート・アルバイトなど	（就業時間換算雇用者数）	⑤臨時雇用者（常用雇用者以外の雇用者）	総計（①～⑤の合計）	（うち 別経営の事業所に派遣している人）	総計のほかに別経営の事業所から派遣されている人
男	人	人	人	人	（　人）	人	人	（　人）	人
女	人	人	人	人	（　人）	人	人	（　人）	人

注1：「常用雇用者」とは、1か月を超える雇用契約者と、5月、6月にそれぞれ18日以上働き、現在も雇用されている人をいい、また、「④パート・アルバイトなど」は、事業所で「嘱託」、「パートタイマー」、「アルバイト」又はそれに近い名称で呼ばれている人をいいます。
注2：「⑤臨時雇用者」とは、「常用雇用者」以外の雇用者で、1か月以内の期間を定めて雇用されている人又は日々雇用されている人をいいます。
注3：「④パート・アルバイトなど」の「就業時間換算雇用者数」は、「④パート・アルバイトなど」に記入した従業者全員の総労働時間（1週間分）÷貴事業所（貴社）の所定労働時間（1週間分）によって算出してください。

Ⅱ 「学習塾業務」の部門別事業従事者数（別経営の事業所に派遣している人を除き、別経営の事業所から派遣されている人を含む。）

部門別区分	管理・営業部門	講師 専任（月給制）	講師 非専任（時給制）	警備員	その他	合計
事業従事者数	人	人	人	人	人	人
うち 別経営の事業所から派遣されている人	人	人	人	人	人	人

備考（記入内容について特記すべき事項があれば記入してください。）	記入者（記入内容の照会に回答出来る人） 部署名	フリガナ 氏名	報告者（代表者）の氏名

記入見本